

Q

学校での成績が落ちてきてしまいました。どうしたらよいでしょう。

A
低
中
学
年

小学校低学年の学習は、親と一緒に何かをすることで安心して学習に取り組むことができます。小学1・2年生のうち、10分や20分の短い時間で、できたという達成感を感じさせることが大切です。達成感の積み重ねがお子さんの自信にもつながります。

また、小学校1・2年生までは学校の授業についていけたけれど、3・4年生になって急に授業が理解できなくなってしまう子どももいます。これは、基礎基本を反復することで身につく内容から、抽象的な内容が多くなっていくことが考えられます。例えば、目には見えない時間経過の理解が必要になったり、言葉と図の関係性を理解する必要が出てきたりするわけです。

誰にでも得意・不得意がありますが、あまりにもその開きが大きい時には学習の定着に悪影響を及ぼすことがあります。例えば、計算が速く正確だけど、文字や言葉をイメージする力が弱く、物語の内容がつかめないケースなどがあります。算数においても、文章題での理解ができず、成績に影響が出る場合があります。

また、学習の仕方の定着が遅かったり、集中が続かなかったり、学習内容理解以外に課題があり、成績が思うように伸びないケースもあります。

まずは、学校でのお子さんの様子を担任の先生に聞いたり、授業の様子を参観したり、ノートのとめ方を見たりすることで、状態を把握することが必要です。担任の先生と連携を図りながら、学校と家庭で不得手な部分を支援していく必要があります。また、状態を知り、支援の手立てを考える際に、教育センターの教育相談に相談することで、より細かな状態把握と支援方法を知る機会となります。必要に応じて、学校との連携も図っています。

A 思春期

急に成績が落ちてしまったのであれば、思春期独特の悩みや葛藤を抱えていることが考えられます。そのことで、勉強に気が向かなかったり、集中できなかつたりしているかもしれません。

この場合、自力で解決し、また勉強へ向かっていくこともあります。解決できずに成績がますます落ちてしまうこともあります。もし悩みを抱えていそうであれば、最近の学校のことや困っていることについて聞いてみるとよいでしょう。その時には、まずは、話している内容を最後まで聞くこと、そして本人がどう思っているか、保護者にどうして欲しいか聞きながら一緒に考えていけるとよいです。ただ、思春期には、保護者に悩みや不安を相談できない場合もあります。その場合は、各学校にいる学校相談員やスクールカウンセラー又は、教育センターのカウンセラー等に相談してみるのもよいかもしれません。悩みや不安を自分の言葉で表現することで、自分自身の内面が整理でき、次へ進めます。

また、学習内容が高度になったことや、中学校の学習の進め方に合わずに授業についていけなくなって成績が落ちたということも考えられます。この場合は、学校に相談したり、教育センターに相談したりしながら、つまづきを明確にし、支援の方法について一緒に考えていくことをお勧めします。

コラム

「発達特性①」

発達特性と呼ばれるものには、次のようなものがあります。

- ・臨機応変な対人関係が苦手（空気が読めない 言葉や仕草から相手の気持ちを考える事が苦手）
- ・こだわりが強い（自分の関心・やり方・ペースの維持を対人関係よりも優先してしまう）
- ・不注意（物事に対して適度に注意を向けること、注意を向け続ける事が苦手、うっかりミスが多い、要領が悪い）

